

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和5年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	523.5	—	674.2	—	674.2	—
備蓄米	—	—	—	—	—	—
飼料用米	91.2	—	91.3	—	91.3	—
米粉用米	—	—	—	—	—	—
新市場開拓用米	—	—	—	—	—	—
WCS用稲	125.0	—	125.1	—	125.1	—
加工用米	—	—	—	—	—	—
麦	649.0	624.3	649.1	624.3	649.1	624.3
大豆	247.1	—	247.1	—	247.1	—
飼料作物	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3	7.3
・子実用とうもろこし	—	—	—	—	—	—
そば	—	—	—	—	—	—
なたね	—	—	—	—	—	—
地力増進作物	—	—	—	—	—	—
高収益作物	70.5	—	73.5	—	73.5	—
・野菜	67.6	—	70.6	—	70.6	—
・花き・花木	1.5	—	1.5	—	1.5	—
・果樹	1.4	—	1.4	—	1.4	—
・その他の高収益作物	—	—	—	—	—	—
その他	1.2	—	1.2	—	1.2	—
・い草	1.2	—	1.2	—	1.2	—
畑地化	—	—	—	—	0.1	—

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	麦	麦二毛作助成 (二毛作)	麦作付面積	(R4年度) 649.0ha	(R5年度) 649.1ha
			二毛作付率	(R4年度) 49.2%	(R5年度) 49.2%
2	飼料作物	飼料作物助成 (二毛作)	飼料作物作付面積	(R4年度) 7.3ha (R4年度) 0.55%	(R5年度) 7.3ha (R5年度) 0.55%
3	大豆	大豆担い手加算 (基幹)	大豆作付面積	(R4年度) 247.1ha	(R5年度) 247.1ha
4	飼料用米	わら利用助成 (耕畜連携)	飼料用米作付面積	(R4年度) 91.2ha	(R5年度) 91.3ha
			わら利用面積	(R4年度) 72.5ha	(R5年度) 73.0ha
			実施率	(R4年度) 79.5%	(R5年度) 80.0%
5	WCS用稲	資源循環助成 (耕畜連携)	WCS用稲作付面積	(R4年度) 125.0ha	(R5年度) 125.1ha
			堆肥散布面積	(R4年度) 98.5ha	(R5年度) 98.6ha
			実施率	(R4年度) 78.8%	(R5年度) 78.8%
6	野菜	野菜作付助成 (基幹)	野菜作付面積	(R4年度) 67.6ha	(R5年度) 70.6ha
7	い草	い草作付助成 (基幹)	い草作付面積	(R4年度) 1.2ha	(R5年度) 1.2ha

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名:福岡県

協議会名:大川市

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価 (円/10a)	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	麦二毛作助成(二毛作)	2	2,000	麦	二毛作で麦を作付する担い手(法人、認定農業者)
2	飼料作物助成(二毛作)	2	7,000	飼料作物	二毛作で飼料作物を作付
3	大豆担い手加算(基幹)	1	7,000	大豆	大豆の作付する担い手(法人、認定農業者)
4	わら利用助成(耕畜連携)	3	8,000	飼料用米	飼料用米の稲わらを飼料として供給
5	資源循環助成(耕畜連携)	3	8,000	WCS用稲	WCS供給先畜産農家の家畜由来の堆肥を散布
6	野菜作付助成(基幹)	1	5,000	別紙のとおり	販売目的で野菜を作付
7	い草作付助成(基幹)	1	20,000	飼料用米	販売目的でい草を作付

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

8 産地交付金の活用方法の明細

1. 地域農業再生協議会名

大川市水田農業推進協議会

2. 活用予定額の総括表

(単位:円)

協議会等名	配分枠 (A+B)		活用予定額
	当初配分 (A)	追加配分 (B)	
大川市水田農業推進協議会	54,233,000	54,233,000	54,233,000

(注)追加配分が未定の段階にあつては、該当箇所を空欄により作成することとします。

3. 活用方法

配分枠

54233000円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積 (a単位)※3															所要額 ①×② (円)		
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物					その他	合計 ② ※5
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹	その他の高収益作物			
1	麦二毛作助成(二毛作)	2	2,000	63,985															63,985	12,797,000	
2	飼料作物助成(二毛作)	2	7,000			780													780	546,000	
3	大豆担い手加算(基幹)	1	7,000		26,800														26,800	18,760,000	
4	わら利用助成(耕畜連携)	3	8,000					9,800											9,800	7,840,000	
5	資源循環助成(耕畜連携)	3	8,000						13,100										13,100	10,480,000	
6	野菜作付助成(基幹)	1	5,000										7,100						7,100	3,550,000	
7	い草作付助成(基幹)	1	20,000														130	130	130	260,000	
合計(基幹)※4			実面積		26,800			9,800	13,100				7,100				130	56,930	54,233,000		
合計(二毛作)※4			実面積	63,985		780												64,765			

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

4. 追加配分等を受けた場合の調整方法

以下により増額調整をおこなうこととする。
整理番号3…上限単価20,000円/10a

所要額が配分額を超過した場合は以下により単価の調整をおこなうこととする。
調整後の単価(上限単価以内で千円未満は切捨) = (配分枠－整理番号3以外の所要額の合計) / 整理番号3の取組面積

5. 所要額が配分枠を超過した場合の調整方法

整理番号3について単価の調整を行う。
調整後の単価(上限単価以内で千円未満は切捨) = (配分枠－整理番号3以外の所要額の合計) / 整理番号3の取組面積

6. 高収益作物について

7. 活用方法(県設定)

配分枠

円

整理番号	用途 ※1	作期等 ※2	単価① (円/10a)	面積(a単位)※3														所要額 ①×② (円)				
				戦略作物							新市場開拓用米	そば	なたね	地力増進作物	高収益作物				その他	合計 ② ※5		
				麦	大豆	飼料作物	米粉用米	飼料用米	WCS用稲	加工用米					野菜	花き・花木	果樹				その他の高収益作物	
1	麦二毛作助成(年末払)(二毛作)	2	7,000	62,400																62,400	43,680,000	
2	麦二毛作助成(年度末払)(二毛作)	2	300	62,400																62,400	1,872,000	
3	麦二毛作助成(年度末一括払)(二毛作)	2	7,300																		0	
4	硬質小麦品質向上助成(基幹)	1	1,000	500																500	50,000	
5	硬質小麦品質向上助成(二毛作)	2	1,000	22,500																22,500	2,250,000	
6	大豆生産性向上助成(基幹)	1	7,500																		0	
7	大豆生産性向上助成(二毛作)	2	7,500																		0	
合計(基幹)※4			実面積	500																500	※6	
合計(二毛作)※4			実面積	62,400																	62,400	47,852,000

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする用途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は用途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、用途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする用途は「1」、二毛作を対象とする用途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする用途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする用途は「4」と記入してください。

※3 「面積」は、当初配分により支援を行う用途について記入し、追加配分により支援を行う用途については、追加配分額が未定の段階にあっては空欄としてください。

※4 「合計(基幹)の実面積」は、基幹作を対象とした設定の実面積を記入し、「合計(二毛作)の実面積」は、二毛作を対象とした設定の実面積を記入してください。

また、「合計②」欄は、基幹作、二毛作それぞれの実面積の合計を記入してください。

※5 ②の合計は、各用途の合計面積を記入してください。

※6 所要額欄の二重枠には、所要額の合計を記入してください。

(注)用途ごとに「産地交付金の活用方法の明細(個票)」を添付してください。

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会		整理番号	1		
使途名	麦二毛作助成（二毛作）					
対象作物	麦					
単 価	2,000円/10a					
課 題	麦は、水稻等との二毛作を中心に作付され、担い手の経営を支えるとともに、水田利用率の向上にも貢献しており、本市水田農業における重要な品目である。 実需者の購入希望品種・数量に沿った作付へ誘導するとともに、産地交付金を活用して作付面積の拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	麦作付面積 (ha)	目標	—	596.9	636.4	649.1
		実績	594	625	649.0	—
	麦二毛作作付率 (%)	目標	—	43.5	46.7	49.2
実績		43.3	45.9	49.2	—	
内 容	麦二毛作作付に取り込む農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者 販売目的で対象作物を作付けする担い手（生産組織、認定農業者及び認定就農者） ○取組の要件 主食用米または水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成対象作物を作付したほ場において二毛作で麦を作付けすること。 ○助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田 ○支援年限の設定 支援は毎年見直す 					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者：営農計画書、担い手リスト（生産組織、認定農業者及び新規認定就農者リスト） ○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷販売実績及び農業共済データによる確認。 ○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） ○取組要件：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） 					
成果等の 確認方法	現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）及び営農計画書により集計					
備考	年末払い					

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会		整理番号	2		
使途名	飼料作物助成（二毛作）					
対象作物	飼料作物（イタリアンライグラス・大麦サイレージ）					
単 価	7,000円/10a					
課 題	飼料作物は、水稻等との二毛作を中心に作付され、農家の経営を支えるとともに、水田利用率の向上にも貢献しており、本市水田農業における重要な品目である。 実需者の購入希望品種・数量に沿った作付へ誘導するとともに、産地交付金を活用して作付面積の拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	飼料作物面積 (ha)	目標	—	6.3	7.8	7.3
		実績	6.2	7.7	7.3	—
	飼料作物二毛作 作付率（%）	目標	—	0.48	0.59	0.55
実績		0.47	0.58	0.55	—	
内 容	飼料作物作付に取り込む農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者 利用・供給（販売）目的で対象作物を作付する農家 ○取組の要件 主食用米または水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成対象作物を作付したほ場において二毛作で飼料作物を作付すること。 ○助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田 ○支援年限の設定 支援は毎年見直す 					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者：営農計画書 ○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、受領書・自家利用実績による確認 ○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） ○取組要件：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） 					
成果等の 確認方法	現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）及び営農計画書により集計					
備考	年度末払い					

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会		整理番号	3		
使途名	大豆担い手加算（基幹）					
対象作物	大豆					
単 価	7,000/10a (20,000円/10a)					
課 題	大豆については、転作作物の中心品目と位置づけており、担い手の経営を支えるとともに、水田利用率の向上にも貢献しており、本市水田農業における重要な品目である。 実需者の購入希望品種・数量に沿った作付へ誘導するとともに、産地交付金を活用して作付面積の拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	大豆作付面積 (ha)	目標	—	233.2	235.5	(237.9) 247.1
		実績	230.6	229.6	247.1	—
内 容	大豆作付に取り込む農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者 販売目的で対象作物を作付する担い手（生産組織、認定農業者及び認定就農者） ○取組の要件 水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物として、大豆を作付すること。 ○助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田 ○支援年限の設定 支援は毎年見直す 					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者：営農計画書、担い手リスト（生産組織、認定農業者及び新規認定就農者リスト） ○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷販売実績及び農業共済データによる確認 ○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） ○取組要件：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） 					
成果等の 確認方法	現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）及び営農計画書により集計					
備考	年度末払い					

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会		整理番号	4		
使途名	わら利用助成（耕畜連携）					
対象作物	飼料用米（ただし、食用に供される畜産物を生産するために使用される牛、馬、豚、鶏に供される場合に限る）					
単 価	8,000円/10a					
課 題	当地域の肉用牛経営においては、国産粗飼料の確保が課題となっており、これまでも水田経営と畜産経営との連携に取り組んできたが、需要に応じた供給体制の構築に至っていない。このため、飼料用米の作付を拡大し、耕畜連携によりそのわらを活用することにより、地域全体で国産粗飼料の供給体制を構築することが必要となっている。					
目 標			令和2年 度	令和3年 度	令和4年度	令和5年 度
	飼料用米 作付面積（ha）	目標	—	47.8	81.8	91.3
		実績	47.1	77.9	91.2	—
	わら利用面積 （ha）	目標	—	38.0	67.9	73.0
		実績	35.3	63.0	72.5	—
	（実施率） （%）	目標	—	79.50	83.01	80.0
実績		75	80.87	79.5	—	
内 容	飼料用米作付に取り組む農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者・・・販売目的で対象作物を作付けする農家 ○取組の要件 <ul style="list-style-type: none"> ①利用供給協定に基づく飼料用米生産ほ場の稲わら利用の取組 ②そのわらが確実に飼料として利用され、かつ、その子実が飼料の種苗として利用される稲の作付であること。 ○助成対象水田 <ul style="list-style-type: none"> ①経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田 ○支援年限の設定 <ul style="list-style-type: none"> 支援は毎年見直す ○その他要件 <ul style="list-style-type: none"> 生産性向上のための課題に対する取組として、多収品種の導入を行うこと。 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組の認定を受けていること。 					
取組の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者：営農計画書 ○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷販売実績による確認、新規需要米認定結果報告書 ○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） ○取組要件：利用供給協定書（3年以上の締結期間）、販売契約書 <ul style="list-style-type: none"> ※利用供給協定書必須事項：取組の内容、わらを生産する者、わらを収集する者、わら利用者、ほ場の場所及び面積、刈取り時期、利用供給協定締結期間、わら取引の条件 					
成果等の 確認方法	<ul style="list-style-type: none"> ①飼料用米作付面積については、営農計画書より集計 ②わら利用を行った面積を集計 					
備考	年度末払い					

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会		整理番号	5		
用途名	資源循環助成（耕畜連携）					
対象作物	WCS用稲（ただし、食用に供される畜産物を生産するために使用される牛、馬、豚、鳥に供される場合に限る）					
単 価	8,000円/10a					
課 題	当地域の肉用牛経営においては、国産粗飼料の確保が課題となっており、これまでも水田経営と畜産経営との連携に取り組んできたが、需要に応じた供給体制の構築に至っていない。このため、WCS用稲の作付を拡大し、耕畜連携によりその耕種農家における家畜糞由来堆肥を活用することにより、地域全体で国産粗飼料の供給体制を構築することが必要となっている。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	WCS用稲作付面積 (ha)	目標	—	70.7	88.7	125.1
		実績	70.0	88.2	125.0	—
	堆肥散布面積 (ha)	目標	—	47	63.0	98.6
		実績	44.9	61.7	98.5	—
	(実施率) (%)	目標	—	66.48	71.0	78.8
実績		64.1	69.95	78.8	—	
内 容	WCS用稲作付に取組農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<p>○助成対象者 需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領に定める新規需要米取組の認定を受け 販売目的で対象作物を作付けする農家</p> <p>○取組の要件 ①当該年度における堆肥散布の取組 ②散布される堆肥が、利用協定書に基づき水田で生産されたWCS用稲の供給を受ける家畜 の排せつ物由来であること。 ③堆肥を散布する者は、水田で生産されたWCS用稲の供給を受けた家畜の所有者又はその 者の委託を受けた者 ④堆肥の散布量が10a当たりで2t又は4m³以上 ※自ら家畜を飼養している者については、当該家畜のすべての堆肥を慣行に従って 自己所有地に散布してもなお、堆肥が不足する場合に不足分を利用供給協定書 に基づいて散布した面積に限り対象とする。</p> <p>○助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田</p> <p>○支援年限の設定 支援は毎年見直す</p>					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <p>○助成対象者：営農計画書、新規需要米認定結果報告書</p> <p>○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷販売実績による確認</p> <p>○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）</p> <p>○取組要件：利用供給協定書（3年以上の締結期間）、販売契約書 ※利用供給協定書必須事項：取組の内容、供給される粗飼料作物等の種類、粗飼料作物等の生産者、堆肥散布者、ほ場の場所及び面積、堆肥の散布時期及び量、 利用供給協定締結期間、堆肥散布の条件。</p>					
成果等の 確認方法	<p>①助成対象となる農家のWCS用稲作付面積を集計する。</p> <p>②堆肥散布の取組を行った作付面積を集計する。</p>					
備考	年度末払い					

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会			整理番号	6	
使途名	野菜作付助成（基幹）					
対象作物	野菜					
単 価	5,000円/10a					
課 題	当地域では、野菜の作付面積の伸び悩みが課題である。別表の野菜については、水稲からの転換及び農家の収入増大のため、産地交付金を活用して作付面積の拡大を図る。					
目 標			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	野菜作付面積 (ha)	目標	—	74.0	74.7	70.6
		実績	73.9	70.6	67.6	—
内 容	野菜作付に取り込む農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<p>○助成対象者 販売目的で対象作物を作付する農業者以下の取組を行うこと。 水田活用の直接支払交付金の戦略作物の対象作物として、野菜を作付すること</p> <p>○支援年限の設定 支援は毎年見直す</p> <p>○その他要件 対象作物については、別紙に定める品目とする。別紙以外で、地域協議会長が特に認める場合は対象にできることとする。</p>					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <p>○助成対象者：営農計画書</p> <p>○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷を証明できるもの（販売伝票等）</p> <p>○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）</p> <p>○取組要件：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）</p>					
成果等の 確認方法	野菜の作付面積については、営農計画書より集計					
備考	年度末払い					

きゅうり	オクラ	紫芋
トマト	かつお菜	ヤーコン
なす	かぶ	らっきょう
ピーマン	カリフラワー	山芋
かぼちゃ	ケール	七草
いちご	ごぼう	水菜
すいか	小松菜	キクイモ
メロン	ふき	ビタミン菜
キャベツ	ししとう	サヤエンドウ
はくさい	しそ	スナップエンドウ
ほうれんそう	しゅんぎく	スイートコーン
ねぎ	せり	ひし
たまねぎ	セルリー	サラダ菜
レタス	たかな	さつまいも
だいこん	チンゲンサイ	からし菜
にんじん	とうがらし	インゲン豆
さといも	トウモロコシ	みず芋
れんこん	なっば	蕾菜
しょうが	なばな	グリーンピース
えだまめ	ニラ	グリーンリーフ
青さやいんげん	にんにく	
ばれいしょ	パセリ	
甘しょ	ブロッコリー	
アスパラガス	ミョウガ	

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	大川市水田農業推進協議会	整理番号	7			
使途名	い草作付助成（基幹）					
対象作物	い草					
単 価	20,000円/10a					
課 題	い草については、年々作付面積が減少し、課題となっている。そのため、作付け面積維持のため、産地交付金を活用して農家の収入増大を図る。					
目 標			令和2年 度	令和3年 度	令和4年 度	令和5年 度
	い草作付面積 (ha)	目標	—	1.3	1.3	1.2
		実績	1.3	1.3	1.2	—
内 容	い草作付に取組農家の所得向上を図る。					
具体的要件	<ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者 販売目的で対象作物を作付する農家 ○取組の要件 通常の肥培管理を実施し、出荷・販売を行っていること。 ○助成対象水田 経営所得安定対策等実施要綱に定められた交付対象水田 ○支援年限の設定 支援は毎年見直す 					
取組の 確認方法	<p>地域協議会において、以下を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○助成対象者：営農計画書 ○助成対象作物：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる）、出荷販売実績による確認。 ○助成対象水田：農地基本台帳との照合及び現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） ○取組要件：現地確認（要綱Ⅳ第2の5に準ずる） 					
成果等の 確認方法	助成対象となる農家のい草作付面積を集計する。					
備考	年度末払い					